

7団体たたえる 県民活躍大賞 県庁で授賞式

県内の社会貢献活動や地域活性化の取り組みを顕彰する2022年度「輝く県民活躍大賞」の授賞式が20日、県庁で行われ、受賞した7団体をたたえた。

同大賞は3部門を設けている。ジュニア・ユースは▽南陽市中学生ボランティアサークルにじ▽三川町中高生ボランティアサークル来夢来人ーの2団体が選ばれた。若者は▽ボランティアサークルポプラ（米沢市）▽山形大模擬裁判実行委員会（山形市）ーの2団体が、一般社会貢献は▽羽州街道「榎下宿」研究会（上

山市）▽SKI（すきっど）北町）▽県看護協会（山形市）ーの3団体が選考された。

各団体は、幼児やお年寄



りとの交流、演劇を通じた法律・社会問題の啓発、かやぶき文化の伝承など多様な活動を展開している。

授賞式で、吉村美栄子知事は各団体の代表者に賞状を手渡し「コロナ禍の中でもそれぞれの分野で活動し、地域活性化に大きく貢献した。広く波及していくことを期待している」と述べた。

同大賞は社会貢献活動に対する県民の関心を高め、積極的な参画を促すことを目的に、21年度に創設した。

（伊豆田拓）

社会貢献活動に取り組む7団体をたたえた授賞式 県庁